

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 5 年 4 月 14 日(2023.4.14)

【公開番号】特開 2021-164616(P2021-164616A)
【公開日】令和 3 年 10 月 14 日(2021.10.14)
【年通号数】公開・登録公報 2021-050
【出願番号】特願 2020-69926(P2020-69926)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 4 月 5 日(2023.4.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定条件が成立することに基づいて、当たりとなるか否かの判定を行う遊技制御手段と

、
前記判定の結果を示唆する判定結果示唆演出を実行可能な演出制御手段と、を備える遊技機において、

前記演出制御手段は、

所定のリーチ演出を実行した後に、前記所定のリーチ演出と異なる特別演出に発展可能とし、

30

前記所定のリーチ演出にて、前記特別演出に発展する可能性を示唆する発展示唆画像と、当たり期待度を示唆する期待度示唆画像とを一緒に表示可能とし、
前記期待度示唆画像の表示を終了させて、前記発展示唆画像の表示を継続させた場合に、前記特別演出に発展させることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の遊技機において、

前記演出制御手段は、

前記発展示唆画像の表示を終了させて、前記期待度示唆画像の表示を継続させた場合に、前記特別演出と異なる特定演出を実行可能とすることを特徴とする遊技機。

【請求項 3】

40

請求項 1 または請求項 2 に記載の遊技機において、

前記演出制御手段は、

前記所定のリーチ演出にて、前記特別演出に発展する可能性を示唆する発展示唆演出を実行可能とし、

前記発展示唆演出が実行された場合のほうが、前記発展示唆演出が実行されなかった場合よりも、前記期待度示唆画像の表示が終了されて前記発展示唆画像の表示が継続され易いことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

50

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

しかしながら、下記特許文献1に記載の遊技機のように、リーチが面白みに欠ける場合あり、この点に改良の余地がある。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

10

【0006】

本発明の遊技機は、

所定条件が成立することに基づいて、当たりとなるか否かの判定を行う遊技制御手段と

、
前記判定の結果を示唆する判定結果示唆演出を実行可能な演出制御手段と、を備える遊技機において、

前記演出制御手段は、

所定のリーチ演出を実行した後に、前記所定のリーチ演出と異なる特別演出に発展可能とし、

前記所定のリーチ演出にて、前記特別演出に発展する可能性を示唆する発展示唆画像と、 20

当たり期待度を示唆する期待度示唆画像とを一緒に表示可能とし、

前記期待度示唆画像の表示を終了させて、前記発展示唆画像の表示を継続させた場合に、前記特別演出に発展させることを特徴とする遊技機である。

30

40

50